



2017年2月17日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

スマートタウン「SMA×ECO TOWN（スマ・エコ タウン）晴美台」 「住まいのまちなみ賞」受賞

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）が開発した大阪府堺市のスマートタウン「SMA×ECO TOWN（スマ・エコ タウン）晴美台」の維持管理・運営を行っている「スマ・エコタウン晴美台団地管理組合法人」は、国土交通省まちづくり月間行事の一環である「第12回 住まいのまちなみコンクール」（主催：まちづくり月間全国的行事实行委員会、一般財団法人住宅生産振興財団、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会）において、「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。



【SMA×ECO TOWN 晴美台】

■ 「SMA×ECO TOWN 晴美台」について

「SMA×ECO TOWN 晴美台」は、全戸建住宅（65戸）や共用施設に太陽光発電システムやリチウムイオン蓄電池などを搭載した環境配慮型戸建住宅地です。

当分譲住宅地では、2013年9月、住民がまちの共用施設を維持管理・運営する「スマ・エコタウン晴美台団地管理組合法人」や、コミュニティイベントを行う「自治会」、まちなみや住環境の保全活動を行う「景観協定運営委員会」を結成し、一体となって活動してきました。

今回、当団地管理組合法人によるまちの景観や防災・防犯などへの取り組み、環境に配慮したまちづくりなどが評価され、「住まいのまちなみ賞」の受賞に至りました。

今後も当社は、「自治都市」としての歴史を持つ堺市の伝統を受け継ぐまちづくりを目指し、住民自らがまちを守り、育ていけるよう、環境配慮やコミュニティ形成に向けた活動をサポートし続け、当社のまちづくりビジョンに掲げるまちの価値を高めていきます。

■「住まいのまちなみ賞」受賞理由について

今回の受賞においては、様々な課題に取り組む応募団体の中で、学校跡地を再利用したエコなまちづくりを自然に生活に取り入れている点が評価されました。オーナーの皆様が身近なところからまちづくりに取り組み始め、まとまりのよいコミュニティが育まれています。また、安全性に配慮した T 字路等の道路計画や景観・通風・プライバシーに配慮した建物をずらした住宅配置などのまちづくり計画についても評価されました。

●「SMA×ECO TOWN 晴美台」のこれまでの受賞歴

2013年11月	10回 エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門国土交通大臣賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20131126111922.html
2013年11月	2013年都市住宅学会賞 業績賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20131129141736.html
2014年2月	第23回 地球環境大賞 フジサンケイグループ賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20140227092110.html
2016年2月	第16回 堺市景観賞 http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/toshikeikan/dai16kaikeikansyou.html
2016年3月	ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2016 最優秀レジリエンス賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20160329093647.html

●「住まいのまちなみコンクール」について

国土交通省「まちづくり月間」行事の一環として、まちづくり月間全国的行事実行委員会及び一般財団法人住宅生産振興財団、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会が共催して「住まいのまちなみコンクール」を実施しています。まちなみの維持管理活動水準の向上を図るため、地域の方々の維持管理によって、安全、清掃、緑化など良好なまちなみが形成され、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援しています。

以 上



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

お問い合わせ先	
広報企画室 広報グループ	06 (6342) 1381
東京広報グループ	03 (5214) 2112